

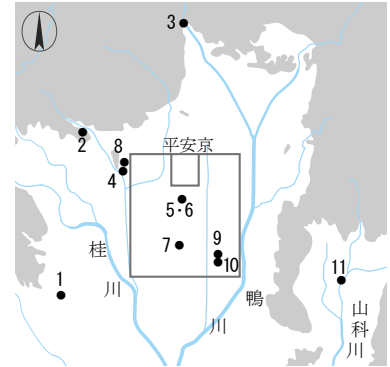
発掘成果をふりかえって 1997

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

京都市内では、毎日のように各所で発掘調査が行なわれています。1997年の調査は60件を越え、新たな発見が続出しました。『リーフレット京都』では、その成果を「発掘ニュース」でお知らせしています。

今年の発掘調査のなかで、右京区梅ヶ畑の丘陵上で見つかった祭

祀遺跡や、墨書土器が出土したJR二条駅構内の調査、山科本願寺跡の調査などでは、大きな成果を残しました。また、太秦安井西裏町で、平安京に隣接する瓦窯跡を新たに発見したことも記憶に新しいところです。そこで、注目を集める発見が相次いだ1年間の発掘成果をふりかえってみましょう。



調査地点



1 檜原廃寺 西京区檜原内垣外町

白鳳時代の創建であるが、長岡京遷都の時に改修されたと見られる回廊跡と掘立柱建物跡を発見した。(西から)



2 梅ヶ畑祭祀遺跡 右京区梅ヶ畑向ノ地町

丘陵頂部のような様子。写真手前の岩の周辺から平安時代前期の土師器や須恵器と共に銅銭が出土した。(北東から)



3 上ノ庄田瓦窯跡 北区西賀茂上庄田町

平安時代前期の官窯の一つ。窯は燃焼室と焼成室に分かれていて、間を隔壁で仕切っていた。(北東から)



4 安井西裏瓦窯跡 右京区太秦安井西裏町

西京極大路の西、宇多川東岸で平安時代中期の窯跡を検出した。平安京に最も近い官窯の一つとみられる。(北から)



5 平安京右京三条一坊三町の建物跡 中京区西ノ京梅尾町
JR 二条駅構内で右京職（右京を管轄する役所）に関係すると考えられる建物跡を発見。墨書土器や硯などが出土。（西から）



7 平安京右京七条一坊十四町 下京区西七条御領町
七条中学校の調査で平安時代前期の掘立柱建物跡や井戸を発見。西市の外町にあたるが宅地利用されていた。（東から）



6 平安京右京三条一坊三町出土の墨書土器 中京区西ノ京梅尾町
土器に書かれていた文字から、右京職の中に「計帳所」「右籍所」などが置かれていたことがわかった。



8 法金剛院旧境内 右京区花園扇野町
JR 花園駅前広場で、法金剛院東御所の建物跡や中門廊・遣水・池の岸などを確認。西京極大路の路面も発見した。（東から）



9 八条坊門小路と鑄造工房 下京区油小路通塩小路下る南不動堂町
八条坊門小路の南北で、鑄造に関する炉や井戸、作業場を検出した。坩堝や鑄型も多数出土した。（北から）



11 山科本願寺を囲んでいた土塁の断面 山科区西野左義長町
粘質土と礫混じりの土を交互に積み上げて造ったことがわかった。土塁基底部の幅は 15 m、高さは 6 m ある。（南東から）



10 室町時代前期の共同墓地 下京区油小路通塩小路下る東油小路町
八条院町の西はずれで発見した木棺墓群で墓域の北端は写真 9 の調査区に及ぶ。骨髄炎で肥大した人骨も残存。（東から）